第○学年外国語活動学習指導案

令和○年○月○日○曜日

第○校時　○時○分～○時○分

○年○組　○○名

指導者　○○　　○○

　○○○　○○○(ALT)

１　単元名　○○○○○○○○○

　　　・児童のこの単元でのゴールの姿が表れるような単元名

２　単元について

（１）児童について

　　・児童の興味・関心・意欲、単元に関する知識・技能、既習事項の定着度など前単元までの実態

（２）教材について

　　・取り上げる教材の内容、既習事項との関連、その教材を取り上げる意義、教材と児童との関係

（３）指導について

　　・指導・支援の力点、グループやペアなどの学習形態、教具、仮説、その他の配慮事項

３　単元の目標

・「知識及び技能」に関する目標

　　　・「思考力、判断力、表現力等」に関する目標

　　　・「学びに向かう力、人間性等」に関する目標

　　　※必ずしもすべての観点を踏まえた目標を記入するということではない。

|  |
| --- |
| 単元の目標は、学習指導要領で示された目標及び内容を踏まえ、児童の実態、教材の意味などを基に設定する。※単元の目標の例：・世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむようにする。（知識及び技能）・名前を言って挨拶をし合うようにする。（思考力、判断力、表現力等）・相手に伝わるよう工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとするようにする。（学びに向かう力、人間性等）●１文で示すこともある。 |

４　関連する学習指導要領における領域別目標

　　（例）

|  |  |
| --- | --- |
| 聞くこと | ア　ゆっくりはっきりと話された際に、・・・・・・・・・・・・・・。 |
| 話すこと[やり取り] | ウ　サポートを受けて、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。 |

５　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 評価規準の設定に当たっては、学習活動との関連において、その場面で児童に期待される学習の姿を想定して設定する。 |  |  |

６　使用する語彙や表現　※「単元観」の項に入る場合もある。

　　　○○○○○○

７　指導と評価の計画（単元の指導計画）（全○時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 目標と主な活動 | 評価 |
| 知 | 思 | 主 | 評価規準＜方法＞ |
| １ | （例）活動の見通しをもつとともに、身の回りの物の言い方を知る。【P】「どんな物があるかな。」○「おはじきゲーム」○「ポインティング・ゲーム」【Ｃ】”What do you like?”【C】“We are good friends.” | 〇 |  |  | ・日本語と英語の音声の違いに気付いている。＜行動観察・振り返りカード分析＞ |
| ２ |  |  |  |  |  |  |

８　本時の指導（１/４）

1. 題目　　身の回りの物の言い方　※その時間に学習する内容を端的に示す。
2. 本時のねらい

日本語と英語の音声の違いに気付くようにするとともに、身の回りの物の言い方を知るようにする。

1. 展開（例）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 備考・評価 |
| HRT | ALT |
| 2分 | ・挨拶をする。 | ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 |  |
| 本時のめあてや学習課題、主発問等を書く21分 | ・指導者の話から活動への見通しをもつとともに、身の回りの物の言い方を知る。【Let's Play】p. 18、 19・誌面の絵にあるもので、英語で言えるものを発表する。・どんな物があるか、どれが好きか探して発表する。・おはじきゲーム・５つ程度紙面の絵を選び、その上におはじきを置く。指導者が言った言葉のうえにおはじきがあれば、それを取る。 | ・本日の給食の話題から、どのような食べ物が好きかについてALTと、児童も巻き込んでやり取りする。・英語で言えるものを発表させる。・英語にはイントネーションがあることを目で見て分かるように工夫する。※評価・デモンストレーションで活動の方法を理解させる。・何度も繰り返し聞かせて音声に慣れ親しませるようにする。その際、日本語と英語の音声の違いについても、体験的に感じ取らせるようにする。  | ・本日の給食の話題から、どのような食べ物が好きかについてHRTと、児童も巻き込んでやり取りする。・児童の言ったものについて英語での言い方を示す。・デモンストレーションで活動の方法を理解させる。・何度も繰り返し聞かせて音声に慣れ親しませるようにする。その際、日本語と英語の音声の違いについても、体験的に感じ取らせるようにする。 | 児童用テキストデジタル教材教師用カード（食べ物、果物、スポーツなど）おはじき（各児童５個程度）・日本語と英語の音声の違いに気付いている。【知】＜行動観察・振り返りカード分析＞ |
| 10分 |  |  | 指導の意図・重点・手立てなどについて留意すべきことを具体的に書く。 |  |